

# 意外？納得？

## クイズで見る「子どものネット利用の実態①」

1 スティーブ・ジョブズ氏（2011年没）をご存じでしょうか？ iPhone や iPad などのハイテク機器を世に送り出している「アップル社」をつくった人です。

ジョブズ氏のことをよく知るある作家が、ジョブズ氏の自宅での様子を語っていましたが、それは次の3つのうち、どのようなものだったと思いますか？



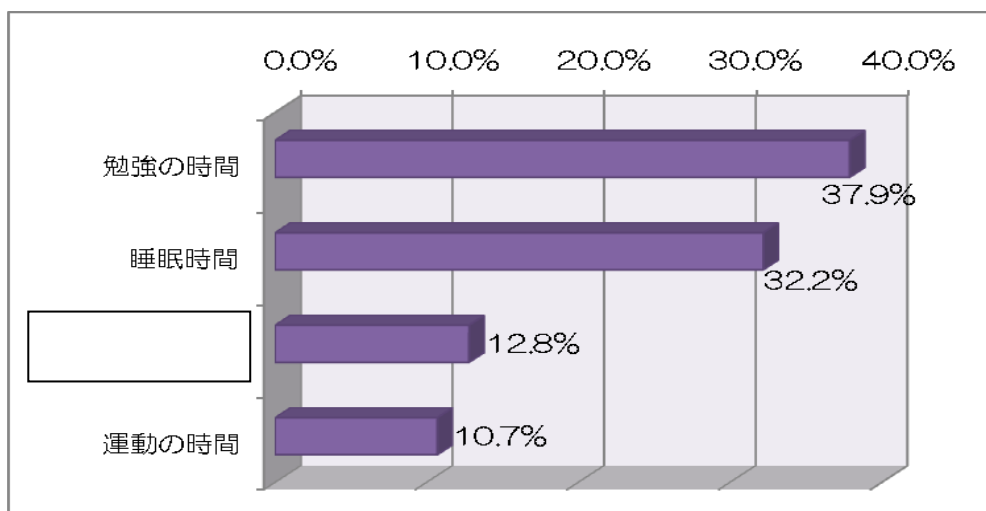
ある作家

① ジョブズ氏は、今後もハイテク機器がどんどん発達していくことをよくわかっていた。だから、将来困らないように、子どもには正しい機器の使い方をしっかり教えていたね。

② ジョブズ氏は、新しいハイテク機器を開発するために、子どもたちの考えを大事にしていた。子どもたちがどんなゲームやアプリに興味を持つか、よく観察したり、話を聞いたっていたね。

③ ジョブズ氏は、子どもたちにハイテク機器を使わせることは、ほとんどなかった。毎晩一緒に食事をしながら、家族でいろいろなことを話して団らんしていたね。

2 今の中高生は、スマホやパソコンなどでネット利用するために様々な時間を削っている（犠牲にしている）ことがわかっていますが、「勉強の時間」「睡眠時間」に次いで削っている（犠牲にしている）と中高生が考えているのは、何の時間だと思いますか？



（「中学生・高校生のインターネット利用実態調査」 道教委）

1 クイズの回答：③

スティーブ・ジョブズ氏だけでなく、マイクロソフト社のビル・ゲイツ氏など、多くのハイテク企業の幹部も、自分の家族にハイテク機器をどんどん使わせているかと思いきや、

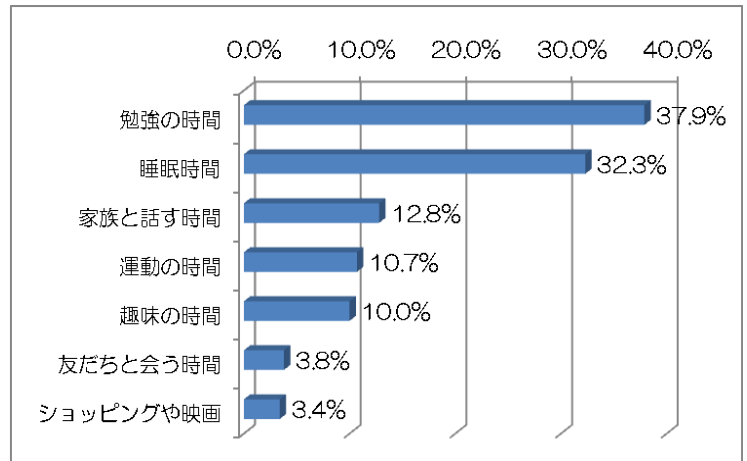
**「ハイテク機器の画面を見る時間を厳しく制限している」**

**「毎晩、食事をしながら子どもたちと本や昔のことを話すようにしている」**

ということです。

道教委が実施した調査によると、スマホを持っている中高生は、スマホやパソコンでネット利用するために「勉強の時間」「睡眠時間」に次いで「家族と話す時間」を削っていることがわかっています。

ジョブズ氏たちは、自分たちが開発する技術が、世の中を便利にする一方で、使い方によっては家族のコミュニケーションの時間を奪っていくことを予感していたのでしょうか。



中高生がネット利用のために犠牲にしている時間（道教委調べ）

## 2 クイズの回答：家族と話す時間

コミュニケーションの力が、学力高めることや良い人間関係を築くことなどに影響していること、そして、コミュニケーションの力をつけるためには、すべての教育の出発点である家庭での会話がたいへん重要であることなどは、様々な研究等で明らかになっています。

P T Aや校長会など、いろいろな機関が連携してつくっている「子どもの生活習慣づくり実行委員会」では、「スマホやパソコンなどの電子メディアを使う時間を見直して、子どもたちに望ましい生活習慣を定着させましょう」というメッセージを込めた「どさんこアウトメディアプロジェクト」に取り組んでいます。

中でも、「1ヶ月に2日（第1・3日曜日）はゲームをしないで（電子メディアから離れて）「家族のだんらん」や「体験活動」を大事にしよう！」という意味の「ノーゲームデー」や、家族でネットの利用の仕方について話し合う「家庭でのルールづくり」などは、家族のコミュニケーションを促す大切な取組ですので、ぜひ各家庭でも取り入れてみてはいかがでしょうか。

北海道教育委員会

「どさんこアウトメディアプロジェクト」のページはこちら  
<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/dosankooutmedia/top.htm>

